つどう
まなぶ
つながる

成田市公民館ニュースレター

第７号

令和５年
７月20日発行

令和４年12月から令和５年３月までに開催した、公民館の講座の様子をご紹介します！

主な内容　ナイトヨガ入門教室(P1)、小中学生書き初め教室(P2)、正月用生け花教室(P3)、水墨画教室(P4)、シニア向けスマートフォン教室(P5)、成田地区歴史散歩(P6)

12月7日・14日・21(水)「ナイトヨガ入門教室」／中央公民館

仕事帰りでも気軽に参加でき、自身の健康作りに役立ててもらおうと、「ナイトヨガ入門教室」を中央公民館で平日の夜に開催しました。

参加者は、マットの上で講師の合図に合わせて深く呼吸をしながらポーズをとり、静かな夜の沈黙の中、リラックス状態に入って一日の疲れを癒していました。

参加者からは、「仕事帰りに参加でき、受講後はリラックスできた」「体を動かすことができて、とても気持ち良かった」と好評でした。

12 月 24 日(土) 「小中学生書き初め教室」／中央公民館

毎年年末に中央公民館で冬休みの宿題にも役立つ「小中学生書き初め教室」を開催しています。公民館で活動しているサークル「書道さくら草」の皆さんに講師をしていただきました。子どもたちに公民館を知っていただく機会とするとともに、地元で活動するサークル会員に協力を得ることで、地域住民と子どもの交流の場を提供する目的もあります。

子どもたちは講師から上手に書くためのポイントを学んだ後、アドバイスをもらいながら、文字のバランスに注意しながら真剣な表情で取り組み、自信作を書き上げていました。講師から作品を褒められると、緊張した表情から一転、笑みがこぼれていました。

12 月 25 日(日) 「正月用生け花教室」／大栄公民館

恒例講座となっている「正月用生け花教室」を、華道家の飯嶋先生の指導のもと、大栄公民館で開催しました。

正月らしい季節の花である「若松(わかまつ)・冬至梅(とうじうめ)・千両(せんりょう)・葉ぼたん・大輪黄菊(たいりんきぎく)」などの花材を用いて持参した花器に、講師のアドバイスを参考にしながら、独自の感覚で自由に花を生けていました。最後は、講師が完成した作品を一つひとつ見て、それぞれの個性を活かしながら手直しを加え、オリジナルの作品を完成させました。参加した皆さんからは、「素敵な作品に仕上がりました」「自宅に飾ります」などの感想をいただき、自分がイメージした通りの作品に仕上がり、満足している様子でした。正月に向けて清らかな気持ちで新年を迎える準備ができ、有意義な教室となりました。

2月10日・17日・24日、3月3日・10日（金）
「水墨画教室」／公津公民館

初心者の方を対象に、地元出身の水墨画家である綿貫先生の指導のもと、「水墨画教室」を公津公民館で全５回にわたって開催しました。

水墨画の基礎となる色の違いの出し方や基本の線の引き方等からはじまり、講師の丁寧な指導で、全員が回を重ねるごとに上達していきました。

また、筆ではなく和紙をちぎったものを用いて描いたり、作品に霧吹きで水をかけ墨を滲ませる技法を教えていただいたり、自由な発想で楽しみながら水墨画を描く様子が伺えました。

参加者同士で教えあい、協力しながら作業を行うなど、和やかな雰囲気の中で開催することができました。

３月１日(水)「シニア向けスマートフォン教室」／中央公民館

スマートフォンを持っていない高齢者の方を対象に「シニア向けスマートフォン教室」を中央公民館で開催しました。

本教室では、日ごろ携帯電話で利用している電話やメールなどの機能をスマートフォンで実践したり、検索機能などのスマートフォンならではのアプリを用いた便利な機能を中心に学んでいました。

講師をお願いした携帯電話会社の方には、一人ひとり順番に回りながら理解度にあわせて丁寧に教えていただきました。

参加した皆さんからは、「定期的に開催してほしい」「中級編をやってほしい」など積極的な意見をたくさんいただきました。

3 月 7 日(火)「成田地区歴史散歩」／成田公民館

市内各地区の文化財と史跡を歩いて廻り、郷土史を楽しみながら学ぶ人気の「歴史散歩」を、今回は成田地区で開催しました。

成田市役所を出発し、成田山新勝寺と宗吾霊堂を結んだ成宗電車が走っていた電車道を歩き、レンガ造りのトンネルをくぐり、その後、成田山の総門を経て東参道に移り、曹洞宗の禅寺である永興寺へ向かいました。お寺ではご住職の厚意で、市の指定文化財である木造聖観音坐像（1399 年銘）を拝観しました。続いて寺台にある保目神社へ向かい、市の指定文化財である懸仏（室町時代）を保存会の厚意で、公開していただきました。懸仏は直径 17.5cm の銅製の円板に千手観音像を彫刻した物で、御正体と呼ばれています。参加者の皆さんは、普段人目に触れることのない仏像を目の当たりにして、興味津々で、夢中で写真を撮ったり、保存会の方に熱心に質問をするなど、御正体に感動していました。

その後、寺台城跡の高台で石碑と根木名川の寺台河岸跡を眺め、最後に、徳川将軍家に採用され、柳生新陰流とともに隆盛を誇った小野派一刀流で有名な小野次郎右衛門忠明・忠常父子の墓を巡りました。参加者は見学場所ごとに、当時の様子を頭に描きながら歴史を堪能していました。

成宗電車がくぐっていたトンネル

永興寺で木造聖観音坐像の説明を受ける

保目神社で懸仏を見学